

劇団め組名作劇場 アンデルセン 原作 60分

はだかの王様



おかしおかし

昔々、ある国に新しいきれいな服が大好きで、星の数ほど服を持っているおしゃれな王様がありました。その王様のもとへ仕立て屋をよそおった二人のいかさま師^しがやってきます。彼らは“なまけ者や、心のきたない人^{もの}には見えない不思議な服^{ふしぎな}”を作ることが出来ると言います。それを聞いた王様は大喜びで注文をします。

しかし、それはまっかなウソ！

目の前にあるはずの布地が王様の目には全く見えません。王様はうろたえますが、大臣^{だいじん}たちの手前本当の事は言えず、なまけ者や心がきたないと思われたくない一心で見えもしない布地^{ほめ}を褒め上げます。大臣たちも自分たちには見えないものの本当の事を言い出すことができませんでした。

とうとう王様は、見えない服を身にまとい、はだかで町^{こうしん}を行進することになるのです。町中の人たちもなまけ者と思われてはいけないと、同じように衣裳^{たて}を褒め称えますが、王様を見て一人の少年^{さけ}が叫びます。

「王様は、はだかだ！！」

さあ、本当のことを言ってしまった少年は、どうになってしまうのでしょうか？



「はだかの王様」は、1837年にデンマークの童話作家、ハンス・クリスチャン・アンデルセンが発表したお話です。誰もが知っているアンデルセン童話の世界に、歌や踊りを盛り込んだ楽しいお芝居です。少年を通して真の勇氣とは何かを問いかけ、子供の純粋な姿に感動を受ける作品です。

(株)劇団め組

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-34-5-102

TEL:0422-56-8853 / FAX:0422-56-8852

■ホームページアドレス <http://www.gekidan-megumi.co.jp/> ■メールアドレス info@gekidan-megumi.co.jp